

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和5年度) 2023年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	9	13	水	9:00	14:30	逆木倉庫	10
活動名称	逆木倉庫清掃・整備					報告者:小嶋・小沼	

<活動目的>

年1回の清掃日であるが、今回は倉庫の棚にシールを添付する事前準備作業を実施した。また、各資材機材の年間管理者の設定について協議し、合意を得たので別添の「逆木倉庫管理・整備方法について」により管理・整備を具体化することとした。

<主な活動内容>

- 5つの倉庫にA~Eの番号を設定した。
- 各倉庫内のものをすべて搬出し、ブルーシートを敷いた敷地内に移動した。
- 資材機材を点検・整備し、プラボックスに入れなおして倉庫内の棚に設置した。
- 今後、棚枠にシール番号を添付し、プラボックスに入っているものの名称を記載したインデックスを添付する。  
※ 1プラボックスに複数の資材機材が入るものもあり、インデックスは時間をかけて整備する。
- 今後も利活用することがないと思われる資材機材もあるので、処分方法を検討する。
- 倉庫内に棚版設置が必要となる場合は棚版をカインズで購入する。
- 滑車類はC倉庫内に細い単管を取り付け、つる下げて設置した。
- 刈払機はE倉庫内の単管に紐とS字でひっかける方式とした。(7台分)
- E倉庫の天上に購入したコンパネを2枚取り付け、今後購入する小彼岸桜の2脚鳥居類を保管できるようにした。
- 検討課題であったエアーコンプレッサーは2万円代のマキタの充電器式のもの(18V)を購入することを検討
- 複数のプラボックスに入っていた鋸・鉋・文房具類・テープ類・ゴミ袋等を専用のプラボックスに分類し、収納したので倉庫内はかなり片付いた。
- 各倉庫内には同色のプラボックスで統一すべきとの意見があり、検討する。

<課題・評価>

1年間利活用しなかった資材機材は原則、破棄することが断捨離の基本である。また、設定した年間管理者がどれだけ実行・運用できるかが今後の整備のポイントとなる。

なお、年間管理者は資材機材の収納台帳(ひな形を後日送付する予定)を作成し、倉庫内で閲覧できるようにするのでご協力をお願いする。

<里山参加会員>

小嶋、杉山、小澤邦、吉井、大森、橋本、小沼、井上、鈴木寿、牛島

<活動写真>



以上